

平成30年6月4日

各 位

会 社 名 五洋インテックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 大脇 功嗣
(JASDAQ・コード7519)
問合せ先
役職・氏名 取締役管理部長 小林 光博
電 話 0568-76-1050

(訂正)「平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」
の一部訂正について

当社は、平成29年8月8日に開示いたしました「平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の内容及び理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日付「平成30年3月期決算短信の公表ならびに過年度の決算短信等の訂正版の公表および過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は下線を付して表示しております。

なお、訂正箇所が多数に及ぶことから、上記の訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

以 上

(訂正後)

平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月8日

上場会社名 五洋インテックス株式会社 上場取引所 東
コード番号 7519 URL <http://www.govointex.co.jp>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)大脇 功嗣
問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)小林 光博 (TEL) (0568)76-1050
四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	415	△10.7	△112	—	△139	—	△141	—
29年3月期第1四半期	464	59.5	△67	—	△65	—	△55	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 △141百万円(—%) 29年3月期第1四半期 △58百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
30年3月期第1四半期	△8	53	—	—
29年3月期第1四半期	△3	52	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	2,081	54.8	1,140	54.8	—	—
29年3月期	1,836	45.1	828	45.1	—	—

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 1,140百万円 29年3月期 828百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
30年3月期	—	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	1,020	△0.1	△65	—	△80	—	△90	—	△4	88
通期	2,400	10.9	70	—	55	—	40	—	2	07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	20,203,174株	29年3月期	16,603,174株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	4,179株	29年3月期	4,179株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	16,638,555株	29年3月期1Q	15,795,591株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、設備投資の緩やかな増加や個人消費の持ち直しの動きにより、緩やかな回復基調が見られましたが、海外経済の不確実性や人手不足の深刻化が懸念されるなど、依然として景気は不透明な状況となっております。当社グループを取り巻く事業環境は、室内装飾品関連（カーテン等）市場に影響を及ぼします新設住宅着工総戸数は増加しております。

このような状況の下、当社グループはメインブランドであります「インハウス」見本帳を、平成29年5月に5年ぶりに大幅改訂しました。

売上高は、室内装飾品関連では子会社であります株式会社イフの外商が好調に推移したことなどにより増加となりましたが、IT関連ではシステム開発の遅れが響き、全体では減少となりました。

利益面におきましては、販売費及び一般管理費において見本帳「インハウス」の改訂に係る販売促進費用等の増加、営業外費用として第三者割当増資に伴う株式交付費の発生により、損失は拡大しました。

以上の結果、売上高は前年同四半期比10.7%減の415百万円、営業損失は112百万円（前年同四半期は67百万円の営業損失）、経常損失は139百万円（前年同四半期は65百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は141百万円（前年同四半期は55百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

第2四半期以降におきましては、室内装飾品関連では見本帳「インハウス」による販売強化、IT関連におきましてはシステム開発の遅れを挽回して新規受注を獲得するとともに、新たに会社設立登記しました先端医療検査に関わるサービス事業を開始して、収益拡大を目指してまいります。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

(室内装飾品関連)

売上高は、子会社であります株式会社イフの外商が好調に推移したことなどにより増加いたしました。

以上の結果、売上高は前年同四半期比0.9%増の306百万円、営業損失は「インハウス」の販売促進費用等の増加により20百万円（前年同四半期は0百万円の営業利益）となりました。

(IT関連)

システム開発の遅れが響き、結果として売上高は前年同四半期比31.0%減の108百万円、営業損失は43百万円（前年同四半期は19百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ233百万円増加して1,405百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が280百万円減少したものの、現金及び預金が501百万円増加したことなどによります。固定資産は、11百万円増加して675百万円となりました。これは、ソフトウェア仮勘定が9百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ244百万円増加し、2,081百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ53百万円減少して530百万円となりました。これは、その他（未払金等）が22百万円増加、1年内返済予定の長期借入金が13百万円増加したものの、短期借入金が40百万円減少、未払消費税等が24百万円減少、未払法人税等が17百万円減少したことなどによります。固定負債は、13百万円減少して409百万円となりました。これは、長期借入金が18百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ67百万円減少し、940百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ312百万円増加して1,140百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失が141百万円になったものの、第三者割当増資により資本金及び資本剰余金がそれぞれ226百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月12日に発表しました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、現在のところ数値に変更はありません。今後、変更が生じる場合は、すみやかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	332,184	833,299
受取手形及び売掛金	499,219	219,165
商品	282,525	291,137
仕掛品	14,253	12,072
原材料及び貯蔵品	16,819	20,745
繰延税金資産	12,582	12,956
その他	20,542	20,883
貸倒引当金	△5,939	△4,903
流動資産合計	1,172,188	1,405,356
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	129,201	126,738
機械装置及び運搬具(純額)	177	164
土地	289,500	289,500
リース資産(純額)	6,705	15,197
建設仮勘定	13,490	-
その他(純額)	4,501	10,910
有形固定資産合計	443,574	442,510
無形固定資産		
のれん	7,253	6,346
商標権	151	143
電話加入権	21	21
ソフトウェア	17,703	17,649
ソフトウェア仮勘定	65,201	74,311
無形固定資産合計	90,331	98,472
投資その他の資産		
投資有価証券	28,117	28,745
破産更生債権等	<u>78,595</u>	<u>78,595</u>
差入保証金	45,139	45,167
その他	56,915	60,859
貸倒引当金	<u>△78,595</u>	<u>△78,595</u>
投資その他の資産合計	130,172	134,771
固定資産合計	664,078	675,755
資産合計	1,836,266	2,081,111

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	153,355	139,916
短期借入金	143,500	103,480
1年内返済予定の長期借入金	158,786	172,740
リース債務	1,211	1,882
未払法人税等	21,879	4,394
未払消費税等	31,048	6,060
賞与引当金	15,999	20,680
受注損失引当金	970	1,306
その他	57,622	80,432
流動負債合計	584,373	530,893
固定負債		
長期借入金	367,058	348,861
リース債務	5,522	8,464
繰延税金負債	2,824	3,088
退職給付に係る負債	35,489	36,706
役員退職慰労引当金	5,324	5,324
資産除去債務	6,977	6,977
固定負債合計	423,195	409,421
負債合計	1,007,569	940,315
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,157,709	1,384,509
資本剰余金	471,005	697,805
利益剰余金	△809,726	△951,591
自己株式	△559	△559
株主資本合計	818,428	1,130,163
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,268	10,632
その他の包括利益累計額合計	10,268	10,632
純資産合計	828,697	1,140,795
負債純資産合計	1,836,266	2,081,111

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	464,937	415,048
売上原価	250,036	242,735
売上総利益	214,900	172,313
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	81,821	93,484
賞与引当金繰入額	31,647	6,838
貸倒引当金繰入額	3,728	△1,036
退職給付費用	1,821	2,385
業務委託費	10,417	11,521
賃借料	15,504	16,573
減価償却費	5,051	4,901
のれん償却額	906	906
支払手数料	17,579	-
その他	113,619	148,835
販売費及び一般管理費合計	282,100	284,412
営業損失(△)	△67,199	△112,099
営業外収益		
受取配当金	356	344
為替差益	1,926	-
その他	4,821	2,658
営業外収益合計	7,104	3,003
営業外費用		
支払利息	3,584	2,822
売上割引	126	148
持分法による投資損失	-	569
為替差損	-	762
株式交付費	-	25,822
その他	1,533	497
営業外費用合計	5,244	30,622
経常損失(△)	△65,339	△139,718
税金等調整前四半期純損失(△)	△65,339	△139,718
法人税、住民税及び事業税	2,664	2,520
法人税等調整額	△12,406	△374
法人税等合計	△9,741	2,146
四半期純損失(△)	△55,598	△141,864
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△55,598	△141,864

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純損失(△)	<u>△55,598</u>	△141,864
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,490	363
その他の包括利益合計	△2,490	363
四半期包括利益	<u>△58,089</u>	△141,501
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△58,089</u>	△141,501

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

当社は、平成29年5月19日開催の取締役会決議に基づき、平成29年6月29日開催の定時株主総会における承認を経て、檜崎幹雄氏、大村寿男氏、大村正恵氏、吉村栄治氏、青木敏氏、木村昌弘氏、株式会社木村建設及び株式会社B Tホールディングより、平成29年6月30日を払込期日とする第三者割当増資の払込みを受けました。

これに伴い、資本金及び資本準備金がそれぞれ226,800千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が1,384,509千円、資本剰余金が697,805千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	室内装飾品 関連	I T関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	303,603	157,645	461,248	3,688	464,937	—	464,937
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	303,603	157,645	461,248	3,688	464,937	—	464,937
セグメント利益又は 損失(△)	625	△19,323	△18,697	△5,760	△24,458	△42,740	△67,199

(注)1 その他は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗料等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分しない全社費用が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益又は損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「I T関連」セグメントにおいて、株式会社レックアイを連結子会社化したことにより、のれんの金額に重要な変動が生じております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては10,880千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

株式交換により株式会社レックアイを完全子会社化し、同社の事業であるシステム開発及び販売等を新たな報告セグメント「I T関連」として、当第1四半期連結累計期間より追加しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	室内装飾品 関連	I T関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	306,285	108,763	415,048	—	415,048	—	415,048
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	306,285	108,763	415,048	—	415,048	—	415,048
セグメント損失(△)	△20,879	△43,385	△64,264	—	△64,264	△47,834	△112,099

(注)1 その他は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 セグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分しない全社費用が含まれております。

3 セグメント損失(△)は、連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。